

「地域を愛し、自分で考え 自分で行動する子ども」を育てる

コミュニティ・スクール 通信



令和5年度 第4号 11月29日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博

日の里学園「クリーン作戦」

快晴の天气に恵まれた11月22日（水）、日の里学園の2学期の交流活動、「クリーン作戦」が行われました。

午前中は東小と西小の4年生がリーダーとなり、1～4年生で協力し合って、それぞれの学校の敷地内をきれいにしました。

午後からは中学校の9年生がリーダーとなり、小中の5～9年生で協力して、日の里地区の7つの公園や東郷駅前大通りなどの清掃活動を行いました。清掃活動前には地域代表として、東小では生活環境部会会長の田和さんから、西小では副部会長の松尾さんからの励ましと感謝の言葉をいただきました。

小中学生と一緒に地域を美しくする中で、学園のつながりや中学生へのあこがれを感じるとともに、地域貢献のやりがいや清掃後のすがすがしさなどを感じているようでした。



7年生の福祉学習 地域の方々に提案

7年生は、「誰もが住みよい日の里」にするために、総合的な学習の時間で認知症や日の里地区の福祉について学んでいます。具体的には、宗像市や日の里の少子高齢化の現状や課題、高齢者を支える「社会の仕組み」、シニアクラブ・福祉会などの団体の活動、認知症の人への対応などについて学習を深めました。そして、11月22日（水）に、これまでの学習を踏まえ、約30人のシニアの方々に学校にお招きして、グループごとに提案と意見交換をしました。

中学生は「あいさつを進んで行く」「ゴミ出しのお手伝いをする」「自分たちが学んだ認知症についての内容をまとめて、回覧板で見いただく」などの提案を行いました。地域の高齢者からは、それらについてよさや課題などのご意見をいただきました。地域のシニアの方、ご協力をくださりありがとうございました。



第2回学園授業研修会

日の里学園では、小学校と中学校の教師が合同で、「学園授業研修会」を年に2回実施しています。そこでは、お互いに授業を見せ合い、授業後に意見交流をすることを通して、お互いの授業力を高め合っています。

11月24日（金）の午後から、日の里西小と中学校で本年度2回目の授業研修会が行われました。小中一貫教育の前期（1～4年）、中期（5～7年）、後期（8～9年）と特別支援学級のそれぞれから4つの提案授業があり、それぞれの授業が「主体的・対話的で深い学び」になっているか、タブレットを効果的に使っているかなどについて協議を行いました。

